

環境経営レポート

対象期間 2023年10月～2024年9月

株式会社 J・I・S

《ご挨拶》

株式会社 J・I・S は、前身の有限会社杉山保険事務所が 1998 年法人化以来、保険代理業を生業として歩んでまいりました。損害保険をはじめ、生命保険に至るまで、お客様に信頼される企業を目指しております。会社の規模も拡大の方向にあり、変革は環境にも与える影響が大きい事を受け止め、次頁の環境方針環境経営を展開し、地球環境に優しい企業として大きな役割として捉え新たな一歩を歩み出しました。

以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境経営に生かして行きたいと存じます。

株式会社 J・I・S
代表取締役 杉山 学

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業経営の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境目標とその実績	P-4
5. 環境経営の取組計画と評価	P-5・6
6. 環境関連法規制の遵守	P-6

1. 環境経営方針

〔基本理念〕

当事務所は、お客様に保険商品の提案をしながら、身近な環境保全活動を喚起し、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

〔基本方針〕

1. 環境経営システムを構築し、次に掲げる事項について環境目標・活動計画を決定し継続的に改善するよう努めます。

①二酸化炭素排出量削減・エネルギー（電気等）節減

②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。

③排水量の削減（水資源の保全）・節水への取り組み

④環境管理に関する情報をお客様に公表し、環境保全を喚起する。

2. 環境に関する法規制等を遵守します。

3. 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。

2018年10月10日

株式会社 J・I・S
代表取締役 杉山 学

2. 事業経営の規模

1. 事業所及び代表者名

株式会社 J・I・S
代表取締役 杉山 学

2. 所在地

〒370-0844 群馬県高崎市和田多中町475-3

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 杉山 学
環境管理責任者 : 杉山 薫
担当 : E A 2 1 事務局 須藤 浩之
TEL : 027-323-7538
FAX : 027-327-4716

4. 対象範囲

株式会社 J・I・S 全組織 全活動

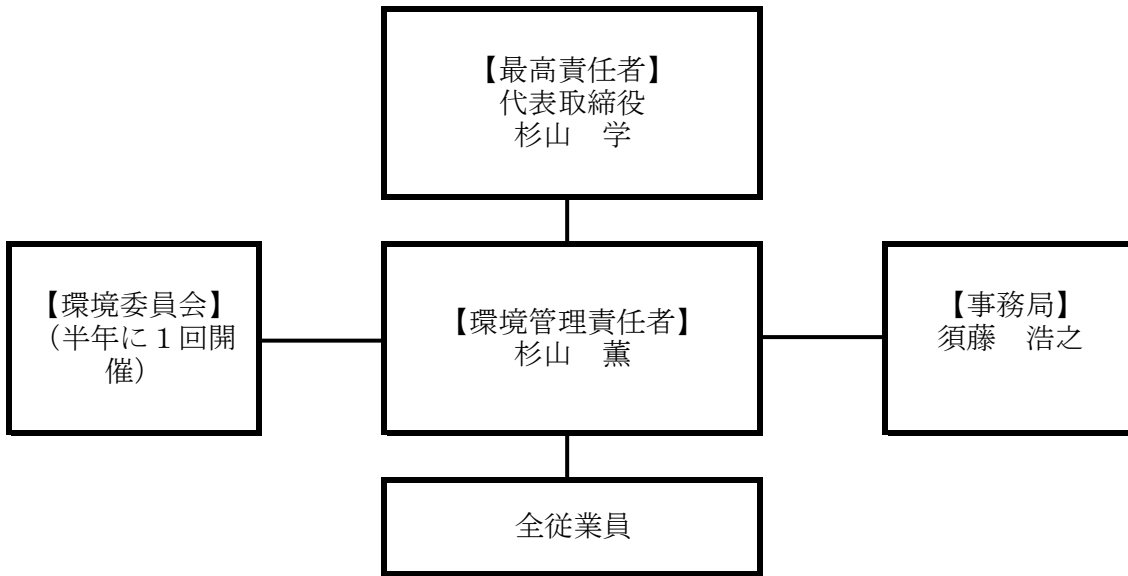
5. 事業の内容

損害保険・生命保険代理業

6. 事業規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
従業員数	人	7	7	7
延べ床面積	m ²	25	25	25

3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 杉山 学】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【杉山 薫】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【須藤 浩之】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・全従業員で構成し、半年に1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4. 環境目標とその実績

当社に於ける2023年度(2023/10/1～2024/9/30)の環境負荷実績を把握し、
2023年度～2025年度の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 主要な環境目標と環境負荷・実績

環境目標	基準値	今年度目標		2年後の 目標	3年後の 目標	環境活動計画 実施事項
	2022年度	2023年度		2024年度	2025年度	
	実績	目標	実績	目標	目標	
①二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂)	6185.88	2022年度実績に対して1%削減	○ 6053.66 (-2.13%)	2022年度実績に対して2%削減	2022年度実績に対して3%削減	①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン買い替え ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備
②廃棄物排出量の削減(kg)	330	2022年度実績に対して1%削減	○307 (-6.96%)	2022年度実績に対して2%削減	2022年度実績に対して3%削減	①分別ルール of 徹底 ②廃棄物置場の整備 ③裏紙使用ルールの設定 ④無駄な印刷を廃止
③水資源投入量の削減(m ³)	194.4	2022年度実績に対して1%削減	○ 170.1 (-12.5%)	2022年度実績に対して2%削減	2022年度実績に対して3%削減	①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水
⑤本業に関わる活動	—	—	—	—	—	①Web約款推進 ②リサイクル部品使用の推進 ③タブレット端末使用

*2022年度の実績は、2022年10月～2023年9月の1年間のデータです。

*購入電力(東京電力2019年度)の二酸化炭素の排出係数は、0.457kg-co₂/kWhです。

5. 環境経営計画の取組みと評価

*2023年度（2023年10月～2024年9月）の1年間の活動の取組みと評価をしております。

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 『目標』 前期に対し、1%削減 目標の達成状況：-2.13%減 ○	・アイドリングストップを心掛けガソリン使用削減に繋がった。 ・エアコン、照明器具交換にて電力消費削減出来るも極端な暑さで昨対比増。
	次年次への取組内容
	・引き続きエコ運転や電気量の節約に努める。
2. 廃棄物排出量の削減 『目標』 前期に対し、1%削減 目標の達成状況：-6.96%減 ○	・新規・既存問わず紙の排出減。ペーパーレス化対応にて減。 ・商品改定でのパンフレット差し替え有り、一定量の廃棄物は無くせない状況も、極力発注数量を調整して無駄を削減。
	次年次への取組内容
	・今までの取り組みを維持し、更に排出量の削減に努める。
3. 水資源投入量の削減 『目標』 前期に対し、1%削減 目標の達成状況：-12.5%減 ○	・節水の意識定着も、事務所単体での計測値では無い為参考値となっている。
	次年次への取組内容
	・今まで通り、節水する。
5. 本業に関わる活動 『目標』 — 目標の達成状況： ○	・Web約款を顧客への推進活動 約90%推進できている ・リサイクル部品使用特約付保の提案 車両保険付保のお客様への推進 ・タブレット端末使用による、申込書の削減50%
	次年次への取組内容
	・活動維持していく。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	当社取り組み	遵守状況
下水道法	使用開始届け	遵法
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物処理	遵法
自動車リサイクル法	社有車処理時	遵法
家電リサイクル法	更新処理時	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・取組を始めて、従業員のエコに対する認識が出来てきた。
- ・ごみを分別し減らす努力やエコ運転、まめに電気を消したり、エアコンの設定温度を上げたり、と成果が出ている。
- ・現状の課題として、業務拡大傾向にあるので、いかに今まで以上にエコに取り組むか。
- ・今後も業務拡大しつつ、一人一人エコを認識し、活動していきます。